

令和 8 年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
※プルダウンから選んでください	

【 1 】 事前相談

（1）市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	
事前相談日	
※複数回相談した場合、全てご記入ください	

（2）協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	子育て支援課
事前相談日	2026/3/27
※複数回相談した場合、全てご記入ください	

【 2 】 応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5 名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から 3 年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1 年以上の活動実績を持っている。	○
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 3 回以上採択された団体ではない。	○
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 2 回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。（申請者・団体概要をそれぞれ記入要）	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年 3 月 31 日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	一度採択された事業ではない。（新しい工夫・発展性が見受けられる場合は対象とする。）	○

【3】申請者・団体概要

団体の名称	任意団体　ハグパス（Hug Path）
団体名称のフリガナ	ハグパス
構成員	計　　6　　名
（内訳）	（１）市内関係者　　　6　　名　　　（２）その他　　　　　　名
設立年月日（西暦）	2024　年　9　　月　1　　日　　　（設立　2　　年目）
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料（団体パンフレット、HP等）を併せて提出してください。
（１）設立の目的	ハグパスは以下を目的として活動する。 ①子育て中のパパママと、これから親になる学生・プレパパママが早い段階からつながり、交流を通して子育てへの不安や孤立感を軽減し、「子育てを楽しいもの」として前向きに捉えられる環境をつくること。 ②地域・行政・家庭をつなぐ役割を担い、金沢市の子育て支援をより身近で分かりやすいものにし、地域全体で支え合いながら安心して子育てできる「こどもまんなか社会」の実現を目指すこと。 令和7年度の地域力再生課管轄事業：未来につなぐ金沢行動会議への参加し、「家族の休日プロジェクト」という名前で活動して団体骨格を形成しました。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
（２）今後の目指して いきたいこと	ハグパスは、子育て中のパパママだけでなく、学生を含めたプレパパ・プレママを主な対象とし、親になる前から地域とのつながりを持てる仕組みづくりを進めていきます。特に、将来子育てを担う若い世代が、現役のパパママと交流し、リアルな子育ての喜びや悩みを知ることで、漠然とした不安を減らし、「子育てしたい」「この地域で暮らしたい」と思えるきっかけをつくります。 また、継続的な交流イベントや学びの場を通して、参加者と企画者のパパママが自然につながり、相談できるコミュニティを形成していきます。さらに、金沢市子育て支援課との連携を深め、現場の声を行政へ届けることで、支援制度や遊び場の充実など地域全体の子育て環境向上にも取り組みます。将来的には一般社団法人化を目指し、持続的な活動として地域に根付かせていきます。 子育て支援課との事前打合せを通して、学生を含めたプレパパ・ママと子育てを結びつける取り組みの必要性を共有しました。将来金沢で子育てを担う世代に早い段階から関わる機会をつくるため、今後も子育て支援課と積極的に協働し、地域に根ざした継続的な事業として発展させていきます。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	
活動概要	以下に記入してください。
（１）主な活動履歴	2025年2月 妙源寺幼稚園の協力による保護者交流会 実施 6月 金沢市地域力再生課管轄：未来につなぐ金沢行動会議 委員 9月 講師：木のおもちゃの家「りぶか」による講演会 実施 パパママ&プレパパママの交流会 実施 10月 野々市市主催：けんちくあそび（パパ同士の交流会） 実施 2026年1月 株式会社ガクトラボの協力による交流会 実施 3月 講師：安原こども園事務長による講演会 実施 パパママ&プレパパママの交流会 実施
（２）得意分野・ 活躍できること	当団体は、学生、現役の子育て世代、教育・保育の専門職が連携して活動できることが強みです。学生、こども園事務長、3児の父、3児の母、子育て支援事業従事者、教育家、保育士など、多様な立場のメンバーが在籍しています。子育て当事者としてのリアルな視点と、学生・プレパパママ世代の率直な感覚の両方を持ち合わせており、交流事業や学びの場づくりにおいて、参加者に近い目線で企画・運営できることが得意分野であると考えます。
※専門的知見、連携先、 アピールポイント等	
HP,SNSのURL	

【４】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針2_暮らしづくり	(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針3_人づくり	(1) 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援
基本方針2_暮らしづくり	(1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成
協働を希望する課名 ※スタート部門は任意	子育て支援課
企画のタイトル	ミライユ -「学生」と「子育て」が“未来”を起点に“結ばれる”街を目指して-
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	近年、少子化の進行や晩婚化、未婚化が全国的な課題となる中、若い世代が結婚・出産・子育てに対して前向きなイメージを持ちにくくなっています。特に学生世代においては、SNSを通じて「子育ては大変」「自由がなくなる」「お金がかかる」といった負の情報に触れる機会が多く、子育てに対する不安や漠然としたマイナスイメージが先行しやすい状況にあります。一方で、実際に地域で子育てをしている世代と直接関わる機会は少なく、身近なロールモデルが不足しているため、自分自身の将来像として結婚・出産・子育てを具体的にイメージしづらい現状が課題であると考えました。 また、就職活動期は、学生にとって将来のことを本格的に考える最初の大きなタイミングです。しかし、自分自身のライフデザインについて学ぶ機会は少なく、結婚・出産・子育てを含めた人生設計を十分に考えないまま、仕事を優先した浅い将来設計になってしまう傾向があります。特にプレコンセプションケアのような、将来の妊娠・出産を見据えた健康や人生設計の知識は、社会人になる前にこそ必要であります。が、学生に届いていない現状です。 金沢市においてもきめ細やかな子育て支援制度は整備されていますが、その多くは「今まさに子育て中」の世代を対象としており、将来親になる若者へのアプローチは十分とは言えません。10年後の子育て世代を育てるためには、学生のうちから地域の子育て世代や支援者となつながら、子育てを自分ごととして考えられる機会をつくる必要があると考えました。
②ねらい・コンセプト (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	本事業では、大学生を対象に、結婚・出産・子育てを含めた人生設計を前向きに考えるきっかけをつくることを目的とした、3回1セットの伴走型プログラムを行います。 単発イベントではなく、継続的な関わりを通して価値観の変化を促すことを重視し、現役の子育て世代や子育て支援に関わる人との交流を取り入れることで、SNSでは得られないリアルな子育ての姿に触れる機会を提供します。 ・第1回 ライフデザインをテーマに、就職・働き方と結婚・出産・子育ての両立について考える＋交流会 ・第2回 プレコンセプションケアを学び、将来の健康や家族形成について理解を深める＋交流会 ・第3回 子育て支援課の担当との行政交流や2か月前の自分と比較し価値観の変化を振り返る＋交流会 「子育て＝大変」ではなく、「子育ては地域とともに楽しくできるもの」という実感を持てる場をつくり、将来の選択肢を広げることを目指したいと思います。

③実施内容案 年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓ 事業スケジュールひな形	実施予定時期：第1回 9/16(土) 10:30-12:30（開場：10:00-） 第2回 10/24(土) 10:30-12:30（開場：10:00-） 第3回 11/28(土) 10:30-12:30（開場：10:00-） 対象者（ターゲット）：学生（メインは就活生）20名程度 開催場所：コワーキングスクエア金沢香林坊 マルワーク（※仮確保済） 実施内容：3回1セットの伴走型プログラム 第1回 学び：ライフデザインについて考えよう（1h）＋交流会（1h） 第2回 講師：大石真那さん（NPO法人HIKIDASHI代表）の講演（1h）＋交流会（1h） 第3回 学び：子育て支援課担当との情報交換会（1h）＋交流会（1h） 広報・周知の方法：在学や仕事に関わりのある大学教授経由で学生を募る 金沢大学、北陸大学、金城大学、金沢工業大学、北陸学院大学、金沢星稜大学 年間スケジュール案 <table><tr><th>事業内容・準備</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td>(1)ニーズ調査</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)広報・告知</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)イベント実施</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)振り返り・報告書作成</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td>●</td><td></td></tr></table>	事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(1)ニーズ調査	●	●	●	●	●						(2)広報・告知	●	●	●								(3)イベント実施				●	●	●					(4)振り返り・報告書作成	●				●	●	●		●	
事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																														
(1)ニーズ調査	●	●	●	●	●																																																			
(2)広報・告知	●	●	●																																																					
(3)イベント実施				●	●	●																																																		
(4)振り返り・報告書作成	●				●	●	●		●																																															
事業効果	※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。																																																							
期待できる事業効果 （広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等）	本事業により、学生が結婚・出産・子育てを遠い将来の話ではなく、自分自身のライフデザインの一部として具体的に考えられるようになることを期待します。 大きな効果として以下の3つがあげられると考えます。 ①現役のパパママや支援者との交流を通して、子育てに対する漠然とした不安が軽減され、前向きな将来像を描きやすくなる ②プレコンセプションケアを学ぶことで、自身の健康管理や将来の妊娠・出産に対する正しい知識を持つことができ、主体的な人生設計につながる。これは将来的な少子化対策や地域定着にも寄与する可能性がある ③地域で子育てをしている世代とのつながりが生まれることで、学生が地域との接点を持ち、「金沢で暮らし続けたい」と思えるきっかけになる 短期的な学びに留まらず、将来の地域コミュニティ形成につながる持続的な効果を期待しています。																																																							
その他 特記事項 （今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか等）	私たちは、子育て中のパパママとプレパパママの交流イベントを通して、「子育ては大変だけではなく、楽しさや支え合いがある」ということを実感してきました。一方で、その価値をもっと早い段階、つまり学生のうちから届ける必要があると感じていました。 将来、親になる世代が、SNSによる断片的な情報だけで子育てを判断するのではなく、地域の中で実際に子育てをしている人と出会い、自分自身の未来として考えられる機会をつくりたいと考えています。 私たちは10年後の金沢の子育て環境は、今の学生世代の価値観によって大きく変わると考えます。そのため、今この世代に対して「楽しい子育て」のイメージを届けることを重要視しています。 本事業を通して、若い世代が前向きに人生設計を描ける地域づくりを進め、将来的には金沢市全体の子育てしやすさや魅力向上につなげていきたいと思います。 今回の企画でチャレンジしたいことは、従来の子育て世代同士の交流ではなく、「将来、親になる学生へのライフデザイン支援」です。																																																							